

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-01-02-05
事務事業名	自治会運営支援事業		
	根拠法令・要綱等	備前市補助金等交付規則	
事業開始年度	旧市町から引継により開始年度不明		
総合計画	大項目 基本目標	住民主体の協働のまちづくり	
	中項目 基本施策	住民主体で進めるまちづくり	
	小項目 施策	コミュニティ	
	問合せ先	担当課(室)	企画課
		職・氏名	協働推進係長 下林博樹
		電話	64-1806

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市民で組織する区会、町内会及び自治会連絡協議会
目的(何のために)	市内15地区で168区会の円滑な運営を目的とする
行政活動(どのような方法で)	各地区で運営方法は異なるが、区会等の会議運営、役員の研修、地区行事等に対して、一世帯あたり230円の補助を行う。また、区会等の代表者による協議会を組織し、15地区及び市との連携を図りながら、備前市区会、町内会としての意志統一を図っていく。また、長年区長等を務め功労のあった人を表彰する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	区会、町内会等と市行政との連携を密にし、市民生活の向上と市政を円滑に運営する。

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	総区会	総区会	15	15	15	
	区会、町内会数	区会	168	168	168	
	自治会連絡協議会開催回数	回/年	4	4	4	
	自治会連絡協議会役員会開催回数	回/年	0	0	3	
	区会等運営費補助金	千円	13,846,040	13,878,950	14,140,440	
	表彰人数	人	20	4	10	
	事業費	直接事業費		14,119	14,064	14,346
		人件費	千円	5,796	8,207	3,718
		事業費計		19,915	22,271	18,064
財源	国県支出金					
	受益者負担	千円				
	一般財源		19,915	22,271	18,064	
必要人員	人	0.60	0.86	0.42		
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	対象世帯数	説明				
	結果指標量	人	15,758	15,833	15,840	
	対前年比	%	-	100.5%	100.0%	
	活動コスト	円	19,915,000	22,271,000	18,064,000	
単位当たりコスト	円	1,264	1,407	1,140		
結果指標	結果指標量	説明				
	対前年比	%	-			
	活動コスト	円				
	単位当たりコスト	円				

事業の成果			
成果指標名	自治会連絡協議会総会・役員会開催	式又は説明	自治会連絡協議会総会・役員会開催数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	4	4	7
対前年比		100.0%	175.00%
到達目標値	7回	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E> <b>B</b> 課題認識
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	区会、町内会が自らのまちは自らの手でつくり、問題解決を図っていくよう、市は補助金の交付以外でも積極的に支援して行く必要がある。
	行政活動	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A-E> <b>C</b> 課題認識
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	区会、町内会は市にとってのまちづくりのパートナーであり、協働を進めていく上でも欠かせない組織である。自治会連絡協議会においては、区会、町内会からの要望・意見等を聴取し、また市からの連絡事項の伝達を行うなど、協働のまちづくりを行っている。事務改善を行いながら人件費削減に努めている。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A-E> <b>C</b> 課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	自治会連絡協議会は、地区からの要望等の取りまとめ役であり、また市からの連絡事項等の周知等の窓口として有効である

平成20年度の状況		説明	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している
<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了	6月に町内会・区長等永年勤続表彰を行いました。また、今年度も区会・町内会及び自治会連絡協議会に補助金を交付する。		
目標値	結果指標量	15,840	結果指標量
	成果指標量		7

総合評価		評価区分<A-E>	<b>C</b> 
各区会、町内会で様々な活動を実施し、事業内容も充実してきている。また、自治会連絡協議会も区会、町内会と市とのパイプ役として充分機能しており行政側から見ても事務効率が良い。しかし、区会等運営費補助金の算出方法が異なるため、年次段階的な統一を図っていくことが必要である。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
--------------	--	---	---	---------------------------------------

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	補助金の見直し	平成22年度	補助金の削減が図られる